



じもと

HOLDINGS

2015
3月期

特集

中期経営計画スタート！
〳〳本気の〳本業支援
〳〳本気の〳統合効果発揮〳

じもとホールディングスディスクロージャー誌



きらやか銀行



仙台銀行

情報誌編



- じもとグループの地方創生
- [行員インタビュー]本業支援への取り組み
- [第6弾]宮城・山形のじもとじまん ー宮城・山形のじもとの麺特集ー

TOP Message

“本気の本業支援”

私は中小企業の経営者の方が、本当に好きです。

中小企業の経営者の方達は、会社のことが日常、つまり“会社＝人生”です。常に会社の事を想いながら毎日を過ごし、自分の会社に命を捧げて頑張っている姿は、キラキラと輝いています。だから中小企業の経営者が大好きなんです。

中小企業の経営者の方は並大抵でない努力をしています。そして、その社長を信じ会社の為に一生懸命働く社員の皆さんがいます。その後ろには社員の皆さんを信じ支えてくれている家族の方がいます。その中小企業、経営者と社員の皆さんに力を尽くさないで地域金融機関と言えますか。皆さんと一緒に生きていくこと、発展することが私たちの役割です。

だから本業支援をする。

それも本気で本業支援を行う。

株式会社 じもとホールディングス社長
株式会社 きらやか銀行 頭取

栗野 学





じもとグループは、本気で本業支援に取り組み、「人・情報・産業」をつなぎ、地域経済の復興・創生に貢献し、お客さま、じもと地域に喜んでいただけるグループを目指しております。

じもとグループが日々実践している「本業支援」を核とした金融サービス活動は、復興支援や事業改善、創業支援等、宮城と山形の地方創生に大きく貢献できるものと考えております。

本業支援を通じて、

「いかに地域経済、地域社会に貢献するか」

というミッションを追求し、宮城・山形の県境を越えた地域金融グループの特徴を最大限に発揮してまいります。

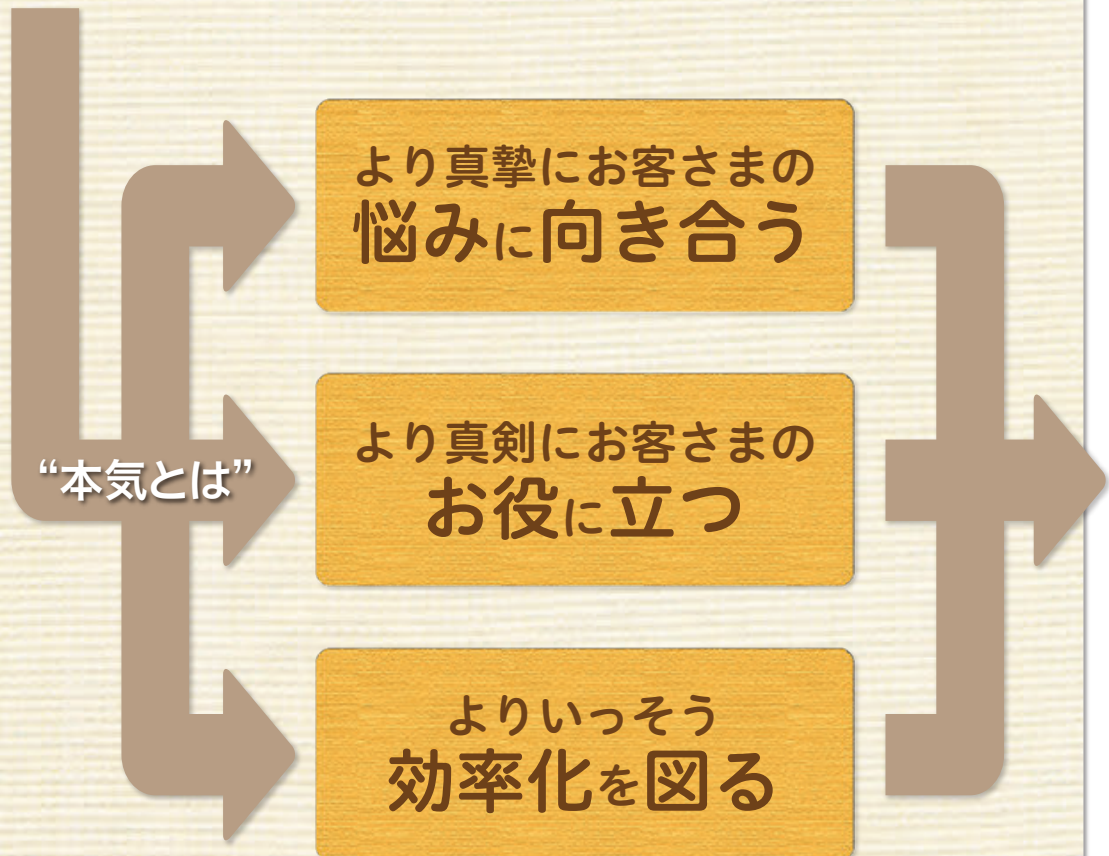
株式会社 じもとホールディングス会長
株式会社 仙台銀行 頭取

鈴木 隆

中期経営計画 スタート!!

キーワードは

“**本気の**” **本業支援
統合効果発揮**



本気の本業支援

「本業支援」の進化・発展
グループの特徴を発揮

じもとホールディングス

お客さまの事業、本業の向上のため

組織的な本業
支援をさらに強化

震災復興への
支援を継続

宮城と山形を
つなぐ

地域金融機関として
コンサルティング機能を発揮

企業の創業、
成長を支援

事業承継、再生支援への
積極的取り組み

県境を越えた情報の
集約と提供を実施

地方創生への貢献

きらやか銀行

仙台銀行

本気の統合効果発揮

経営の効率化・合理化
統合効果・相乗効果を発揮

じもとホールディングス

統一化

業務運営の統一

システムの統一

本部管理部門の統合

事務作業等集中業務の統合

子銀行の業務を
ホールディングスへ
集約化

ホールディングスの
機能を活用した
グループ態勢の充実

共同化

きらやか銀行

仙台銀行

「本業支援」の進化・発展

なぜ
「本業支援」に
取り組むのか

お客さまが抱えている悩みや課題 ▶ 解決 ▶ お客さまが喜ぶ姿

- 私たちは、お客さまが抱えている悩みや課題を解決し、お客さまが喜ぶ姿をみたいと考えております。

本業の成功 ▶ 地域経済の活性化 ▶ 地域が喜ぶ姿

- 私たちは、お客さまの本業の成功が地域経済の活性化につながり、地域が喜ぶ姿をみたいと考えております。

**私たちは、それが「銀行員の使命」であり、
「じもとグループの特徴」だと考えております。**

どのように
「本業支援」に
取り組んでいくのか

本業支援戦略部の態勢充実、強化

- 平成26年10月にホールディングスに設置した本業支援戦略部の態勢充実、強化を図ってまいります。

県境を越えた情報の共有、情報提供を強化

- じもとグループの特徴である「宮城」と「山形」両県の県境を越えた情報の共有、情報提供を強化してまいります。

「本業支援」の
結果

- **お客さまの事業の成功**、ひいては**地域経済の発展に貢献**してまいります。
- 地域のお客さまの事業を支援することで**「地方創生」に貢献**してまいります。
- **地域経済の活性化に協力**することで**「震災復興」に貢献**してまいります。

経営の効率化・合理化

経営の
効率化・合理化で
得られるもの

両行の組織やシステムを統一することで

人員や時間を創出し、「本業支援」や「震災復興」の態勢を強化してまいります。

両行の業務効率化に取り組むことで

経費を削減し、収益力の強化を図ってまいります。

両行の組織、業務、システムの統一や効率化で

じもとグループのグループ力を強化してまいります。

じもとグループの 「本業支援」

じもとホールディングスは、「本業支援」をグループ統一方針として掲げ、地元中小企業の様々な経営課題の解決を支援することで、事業発展や地域産業の活性化に貢献することを目指しております。

平成26年10月に、当ホールディングス内に「本業支援戦略部」を新設し、子銀行のお客さまの事業ニーズを集約してスピーディーに対応するとともに、専門家による高度な本業支援を実践できる体制になりました。

これからも、本業支援の更なる進化・発展に向け、積極的に取り組んでまいります。

1 Case

復興支援 地方創生 地域の復興や 活性化に 全力で取り組みます

じもとグループは、被災地の金融グループとして、被災企業への協調融資や再生支援、被災地での巡回式移動店舗の営業などを通じ、震災復興支援に積極的に取り組んでおります。

また、地方創生への取り組みを強化するため、子銀行に「地方創生推進グループ」を設置いたしました。今後、本業支援を通じ、地域経済の活性化に取り組んでまいります。

2 Case

事業承継 M & A 事業や雇用を守り、 次世代への引継を サポートします

経営者の方にとって、自分の会社を次の世代へ円滑に引き継ぐことが重要な経営課題となっております。

じもとグループは、後継者不在による事業承継問題の解決や後継者育成に向けて様々な支援を行い、経営者の方の想いを次世代に受け継ぐサポートを行っております。

3 Case

専門家 活用 専門家が 経営課題解決を お手伝いします

じもとホールディングス本業支援戦略部には、公認会計士や工学博士、不動産鑑定士、生産管理、農業経営アドバイザーなどの高度なスキルを持った専門家が在籍しております。

これらの専門家が、お客さまの様々な経営課題の解決に向けて、より専門的かつ高度な支援を行っております。

4 Case

ビジネス マッチング 販路拡大や 外注先確保などの ニーズに応えます

じもとグループは、子銀行のお客さまの事業ニーズ（売りたい、買いたい、外注先を探している、等）をじもとホールディングス本業支援戦略部に集約し、希望に合う取引先をご紹介しますなど、新たなビジネス機会を創出し、お客さまの販路拡大や外注先確保などにスピーディーに対応しております。

じもとグループの「地方創生」

人口減少・高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生するため、政府は平成26年12月に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

じもとグループは、地方自治体や外部機関と連携し、宮城・山形両県をつなぐ「本業支援」の取り組みを通じて、地方創生に積極的に取り組んでまいります。

「地方創生推進グループ」の設置

市町村が策定する「地方版総合戦略」への支援や、本業支援を通じた地域経済活性化のための取り組み強化に向け、平成27年4月に、きらやか銀行と仙台銀行に「地方創生推進グループ」を設置しました。

地方公共団体への支援や、地域経済における金融機能の高度化に向けた企画推進体制を強化することで、じもとグループ一体で宮城・山形両県の地方創生に向けた実効性のある取り組みを進めてまいります。

「地方版総合戦略」の策定支援

きらやか銀行と仙台銀行では、各市町村を訪問し、「地方版総合戦略」策定の進捗状況やじもとグループへのニーズをお聞きする活動を行っております。

現在、市町村では「地方版総合戦略」の策定段階にあることから、今後も市町村との情報交換を継続し、計画策定や戦略推進に係る会議に積極的に参加するなど、地域金融機関としてのノウハウを提供し、地方創生の取り組みに協力してまいります。

地域活性化に向けた取り組み

じもとグループは、さまざまな外部機関との連携などを通じて、地方創生への取り組みを積極的に行っております。

1 「よろず支援拠点」 との連携による 取引先の経営改善支援

宮城・山形両県に設置している公的支援機関の「よろず支援拠点」と連携し、相談会や検討会などを行い、取引先の経営改善支援を積極的に行っております。



2 取引先の販路拡大 に向けた支援

全国の食品関連企業が出展する「地方創生『食の魅力』発見商談会」や、じもとグループ主催による商談会などを取引先に参加案内しているほか、個別の販路拡大相談にも対応し、取引先の販路拡大を支援しております。



3 地方大学等との 連携

地元大学と連携し、学生向けの本業支援の取り組みに関する講義の実施や、中小企業支援に向けた人材育成プログラムへの参加などを通じて、地方創生への協力を行っております。



じもとホールディングス連結業績

(単位:百万円、%)

	26年3月期	27年3月期	前年同期比	増減率
経常収益	41,548	42,755	1,206	2.9
経常利益	6,114	6,751	636	10.4
当期純利益	4,661	5,986	1,324	28.4

平成27年3月期の連結業績は、経常収益が427億55百万円、経常利益は67億51百万円、当期純利益は59億86百万円となりました。

きらやか銀行・仙台銀行(単体)の2行合算

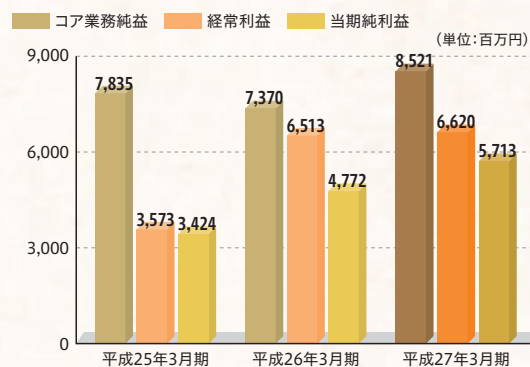
(単位:百万円、%)

	2行合算			
	26年3月期	27年3月期	前年同期比	増減率
経常収益	41,538	42,213	675	1.6
業務粗利益	33,078	34,889	1,810	5.4
経費 (除く臨時処理分)	25,660	25,290	△369	△1.4
業務純益	7,514	10,210	2,695	35.8
コア業務純益	7,370	8,521	1,151	15.6
経常利益	6,513	6,620	106	1.6
当期純利益	4,772	5,713	940	19.7
貸出金	1,518,935	1,599,527	80,592	5.3
預金等 (譲渡性預金を含む)	2,276,217	2,368,310	92,092	4.0
有価証券	736,578	753,315	16,737	2.2

2行合算の経常収益は、前年同期比6億75百万円増加の422億13百万円となりました。

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、有価証券関係損益の増加等により、前年同期比11億51百万円増加の85億21百万円となりました。

経常利益は、前年同期比1億6百万円増加の66億20百万円、当期純利益は前年同期比9億40百万円増加の57億13百万円となりました。



お客さまの喜びを銀行員の喜びとして

天童市の株式会社東正様は板金工事業を主力事業として営業されております。同社の東海林社長様は更なる経営強化のため別事業も強化していきたいという事業ニーズを持っていました。

そこで、日本での住宅寿命は約30年と欧米諸国と比較すると非常に短いとの新聞記事や、政府の新成長戦略において2020年までにリフォーム市場を現在の6兆円から12兆円に倍増する計画があるとの新聞記事を紹介し、空き家問題や核家族化による一人暮らし世帯の増加により、今後は住宅の長寿命化への方向転換が必要であること、これに伴いリフォーム需要が増加するのではないかと方向性を社長と共有しました。

情報を提供し会社の方向性を共有したことで、同社のリフォーム部門強化に向けて社長と様々な議論ができました。従業員1名の増員、歩合制の給与形態の導入、火災保険に精通した人選等の提案について社長と様々な議論を重ねた結果、同社は受注ベースで対前年比3倍以上を確保しております。

今後もお客さまのために何ができるかを考え、自己研鑽を重ねながら行動していきたいと思っております。



きらやか銀行天童支店
竹村 拓 代理
法人渉外担当



休日は、子供と球技大会、冬はスキー。スポーティーな休日ですが痩せません。

お客さまの想い



株式会社 東正
社長 東海林 正晴 様(平成5年創業)

弊社は板金工事業者として平成5年に創業いたしました。弊社もきらやか銀行の本業支援には共感する部分が多々あり「お客さまの喜び」を第一に考え営業を行っております。

銀行主催の各種セミナーでは経営のヒントとなることが多く、担当の「竹ちゃん」は身近で安心できる存在として頼りにしております。

今般のリフォーム部門強化を相談した際も、随所でサポートを頂きスムーズかつ順調に計画を進めることができました。

今後も良きパートナーとして、宮城、山形両県の発展のためにアドバイス頂ければと思っております。

お客様の希望に沿った事業承継を全面サポート

有限会社南蔵王ベリーファーム（いちご栽培）の山口勝敏社長は、当社経営からの引退を考えるとともに、事業をさらに強化し従業員の雇用を維持したいとの思いを強くお持ちでした。

こうした中、ご子息の山口雅之社長が経営する同業の有限会社杜のいちごは、創業期の困難を乗り越えて業績が軌道に乗ってきたことから、勝敏社長は、自社事業を杜のいちごへ承継することを決意されました。

両社長は、様々な相談窓口で事業承継の方法を調べましたが、具体的な情報を得ることができず、どこから手をつけるべきかを悩み、当行に事業承継を相談いただきました。

当行は、早速、提携している事業承継やM&Aの専門家をご紹介。当行も交えて、両社長の想いや事業承継後のプランなど様々なニーズをヒアリングした上で具体的な手法を協議し、最終的に事業譲渡を採用することで、希望に沿った事業承継を実現できました。

今回、当行に事業承継の重大な経営課題を相談いただけた背景には、日頃から本業支援を通じて、両社長から何でも相談していただける信頼関係を構築できていたことが大きかったと思います。

私は、今後もお客様の想いを受け止め、自分自身の本業支援スキルをさらに進化・発展させ、事業経営をしっかりサポートしていきたいと考えています。



仙台銀行 白石支店
川口 達也 主任
渉外担当



趣味はギターやカメラ、テニス、野球と色々あります。バンド活動も行っています。



お客様の想い



有限会社 南蔵王ベリーファーム
代表取締役 山口 勝敏 様(平成8年設立)
有限会社 杜のいちご
代表取締役 山口 雅之 様(平成17年設立)

今回、事業承継にあたり、その方法を自分たちでも調べましたが、何が最善の方法かわからず、もどかしさを川口さんに相談しました。事業承継という弊社にとって重大な経営課題について、仙台銀行には親身になって取り組んでもらい、おかげさまで希望に沿った事業承継を行うことができました。

これから弊社は、これまでの事業を安定させつつ新しいことにも挑戦し、更に進化発展していきたいと考えています。

今後も、些細なことから重大なことまで、「何かあった時には仙台銀行がいる」と、安心して相談ができる存在でいて欲しいと思います。そして、自分たちだけではなく、地域全体にとってそのような存在になってもらいたいと思います。

“じもと”の皆様とともに

子銀行の基幹系システムを統一

きらやか銀行は、平成27年5月に、仙台銀行が加入しているNTTデータのSTELLA CUBE(ステラキューブ)へ基幹系システムを移行しました。これによりじもとグループ子銀行の基幹系システムが統一したことから、今後、業務の統一化や共同化を加速させ、さらに経営効率化を図ってまいります。

また、この効率化によって生み出される経営資源を、じもとグループの特徴である本業支援や復興支援に再配分し、取り組み体制を更に強化することで、お客さまの事業発展や地域経済の活性化に一層貢献してまいります。

『“最新”人事労務・就業規則セミナー』・『食品リスクセミナー』の開催

きらやか銀行と仙台銀行は、平成27年2月、三井住友海上火災保険株式会社との共催で『“最新”人事労務・就業セミナー』を開催し、参加した両行取引先経営者等33名が人事関連の法律改正の動向と今後の対応等を学びました。

また、同年2月、損害保険ジャパン日本興亜株式会社等との共催で『食品リスクセミナー』を開催し、両行取引先経営者等83名が、食の安全管理の現状とリコール対応等について学びました。

今後も、継続的に経営セミナーを開催し、取引企業の経営課題の解決をサポートしてまいります。



『“最新”人事労務・就業セミナー』



『食品リスクセミナー』

インターンシップの開催

きらやか銀行と仙台銀行は、社会貢献活動の一環として、4年制大学及び大学院に在学中の方を対象にしたインターンシップを開催いたしました。

インターンシップでは、金融業界・銀行業務の概要説明や実際に働いている職員とのコミュニケーション等を通して、金融業界とはどのような業種なのか、銀行とはどのような仕事をしているのか等、参加いただいた学生の皆さんに様々な情報を提供いたしました。



きらやか銀行にて開催



仙台銀行にて開催

きらやか銀行・仙台銀行共同キャンペーン「東北の夏、じもとの夏 2015」を実施 定期預金残高の割合に応じて被災地へ復興支援金を寄付！

きらやか銀行と仙台銀行は、じもとグループ共同キャンペーンとして、平成27年6月より「東北の夏、じもとの夏 2015」を実施しております。

東日本大震災の被災地支援として、特別金利定期預金「じもとの夏」を取り扱っており、本キャンペーンでお預け入れいただいた定期預金の残高の割合に応じ、復興支援金として被災地へ寄付いたします。

併せて期間中に対象商品をご契約いただいた個人のお客さま先着1万名様に、宮城県南三陸町の杉間伐材を使用した「復興うちわ」をプレゼントしております。また抽選で1,000名様に「山形・宮城の特産品」をプレゼントしております。

じもとグループは被災地の復興を支援し続けます。



地域社会の発展・活性化への貢献 きらやか経営者セミナー開催

きらやか銀行では、平成27年6月に第6回目となる「きらやか経営者セミナー」を開催いたしました。このセミナーは当行全営業店のお取引先企業を対象にお集まり頂き、今後の企業経営の参考となるような研修の場を設け、著名講師による講演並びにお客さま同士の相互交流を目的としています。

今回のセミナー参加者は600人を超え、過去最高となりました。



【セミナー講師】

- ◆ジャーナリスト/
東京工業大学リベラル
アーツセンター教授
池上 彰 氏
- ◆作家/株式会社エムエス
研修企画 取締役
渋谷 真帆 氏

地域のスポーツ振興への貢献 仙台銀行バスケットボール部

仙台銀行バスケットボール部は、地域のスポーツ振興への取り組みとして、地域の中学校を訪れてバスケットボール教室を開催しております。

教室では、参加した中学生にバスケットボールの基本動作やシュートなどの技術指導を行い、一緒に汗を流してスポーツの楽しさを体感しております。

当行のバスケットボール部は、教室の開催のほか業務との両立を図りながら様々な大会に出場するなど、精力的に活動しております。

当行は、これからも地域のスポーツ振興に積極的に取り組んでまいります。



バスケットボール教室を開催



宮城・山形の



きらやか銀行 北営業部
主任

木村 拓也

Profile

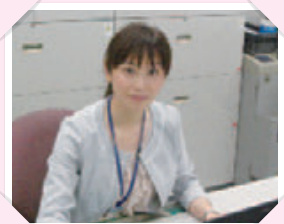
山形県鶴岡市出身、法人渉外を担当しています。本業支援を通じてお客さまからの信頼を得る仕事を心掛けています。休日は4歳の双子の娘達と遊びに出かけています。山形県は自然が多く、天気の良い日はアウトドアを楽しんでいます。

コシのある食感が最高！庄内名物『麦きり』

「麦きり」とは小麦粉を薄く伸ばし、包丁で細く切るその作り方に由来しています。うどんより細くツルツル・もちもちとした歯応えが特徴です。喉越しの良さが食欲をそそる一品で、夏場の食事に最高です。庄内地方では多くの蕎麦屋が「麦きり」を提供しており、年越しに蕎麦ではなく「麦きり」を食べる家庭もあるほど。生そばとの合盛りメニューも好評で、一度に二つの味が楽しめます。



◀麦きり



きらやか銀行 新庄支店
お客様サービス課
課長

佐々木 美穂

県外からの来店客もたくさん！大石田『次年子そば』！

「次年子そば」は、程よいコシと喉越しが魅力の大石田の逸品です。そば打ち体験、大石田そば街道など県内外から多くのそば通が大石田を訪れます。また、爽やかな秋風が吹く9月頃には、白い花が一面に咲き誇るそば畑を見ることができます。



▲次年子そば

Profile

新庄支店、お客様サービス課課長、平成9年入行。二児の母であり、仕事も家庭も充実した日々を送っています。来店されたお客さまから喜んでいただけるよう、笑顔あふれる親切丁寧な窓口作りを心がけております。

ラーメン大好き山形県民が愛する夏の風物詩『冷やしラーメン』

冷やしラーメンは、山形県が発祥の冷たいスープでいただくラーメンのことです。基本は醤油味のラーメンで、スープをキンキンに冷やすために、氷を入れることもあります。さっぱりとした味わいで、暑い夏でもぺろりと食べることができます。盆地である山形は毎年暑い夏となりますが、県民は冷たいラーメンを食べて乗り切っています。

冷やし
ラーメン▶



きらやか銀行 さくらんぼ東根支店
種本 広輝

Profile

入行3年目の渉外担当。常にお客さま第一の姿勢を貫き、地域の皆さまのお役に立てる銀行員を目指し努力していきます。中学校から続けている野球が趣味で、現在も銀行のモーニング野球チームで活動が続いています。

じもとの「麺」特集



気仙沼の高級食材で作った『フカヒレラーメン』

気仙沼は、中華料理の高級食材フカヒレの一大産地です。ラーメンの上にフカヒレを乗せた「フカヒレラーメン」は、とろけるような食感がたまらない贅沢な一品で、たっぷりのコラーゲンで、男女問わずお肌がもちもちになります。



仙台銀行 気仙沼支店

大浦 裕太

Profile

私は入行3年目、現在渉外を担当しています。常に心がけていることは、お客さまの立場に立ち悩みや問題点等を伺い、それぞれのお客さまに合う最適な提案を行うため、一緒に考えて解決していくことです。これからも、一人でも多くのじもとホールディングスのファンを増やすことを目標に頑張ります。



▲フカヒレラーメン

B級ご当地グルメ『石巻焼きそば』

石巻焼きそばの最大の特徴は、味付けをする前から麺が茶色いこと。生の茶色い麺を使っているのは石巻地域だけで、麺の上に目玉焼きをのせて完成です。B-1グランプリにも出場し、ご当地グルメとして全国的にも有名です。



仙台銀行 石巻支店

三澤 志帆



▲石巻焼きそば

写真提供：宮城県観光課

Profile

私は入行4年目、現在預かり資産を担当しています。お客さまに金融商品を提案しご成約いただく中で、契約はあくまでもスタートであり、その後のアフターフォローがお客さまからの信頼を得るための過程で、お客さまから何でも相談いただけるようになることが私の中のゴールだと考えています。これからも皆さまからのご指導により、成長できるように努力してまいります。

新・ご当地グルメ『仙台麻婆焼きそば』

「仙台麻婆焼きそば」は、元々は仙台市内の中華料理店のまかないから生まれた仙台のご当地グルメです。その名の通り、焼きそばの麺の上にピリッと辛い麻婆豆腐がたっぷりかかっています。麻婆豆腐の辛さが暑い夏でも食欲をそそります。



▲仙台麻婆焼きそば

写真提供：中嘉屋食堂 麺飯甜



仙台銀行 上杉支店
主任

齋藤 聡

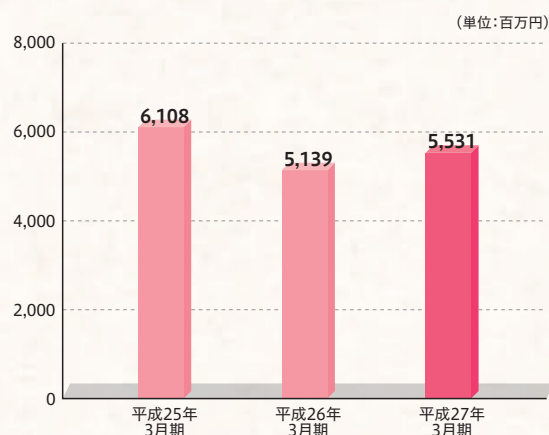
Profile

私は入行8年目、現在渉外を担当しています。お客さまとの信頼関係を第一と考え、お客さまのニーズを把握し金融サービスをご提供することで、信頼を深めパートナーとしてお役に立てるように努めています。これからも一層、お客さまから信頼していただけるよう、自己研鑽に努めてまいります。

業績ハイライト(単体)

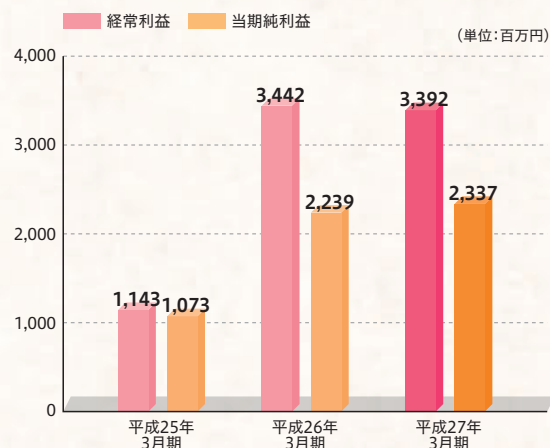
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が増加したことや、経費削減に努めたことで物件費が減少したことなどから前年同期比3億92百万円増加の55億31百万円（増減率7.6%）となりました。



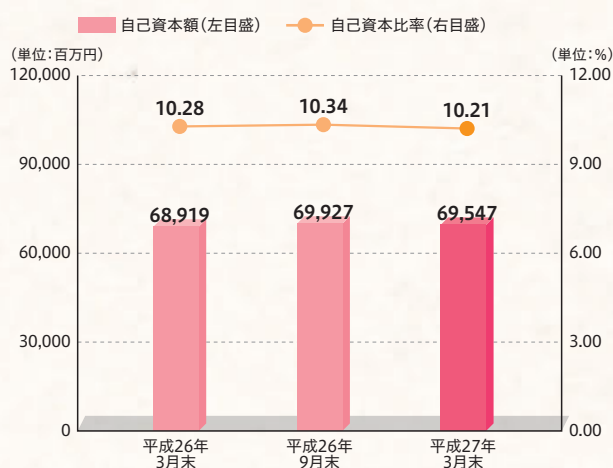
経常利益・当期純利益の状況

経常利益は前年同期比50百万円減少の33億92百万円、当期純利益は前年同期比97百万円増加の23億37百万円となりました。



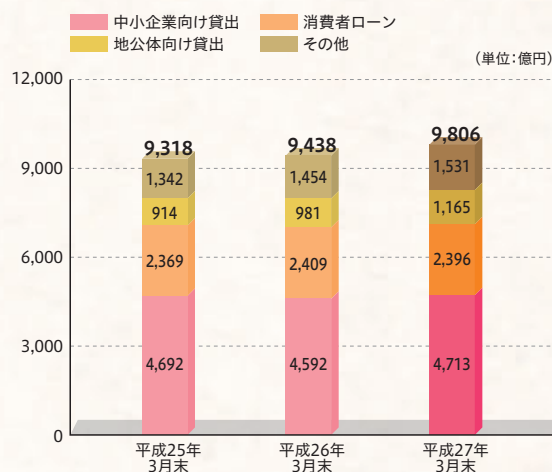
自己資本比率の状況

自己資本比率は、当期純利益を23億37百万円計上したことで、自己資本額（分子）が増加した一方で、貸出金残高増加に伴いリスクアセット（分母）が増加したことなどから、平成26年3月末比0.07ポイント低下の10.21%となりました。



貸出金の状況

貸出金残高は、中小企業向け貸出、地方公共団体向け貸出が増加したことなどから、平成26年3月末比368億10百万円増加の9,806億58百万円となりました。

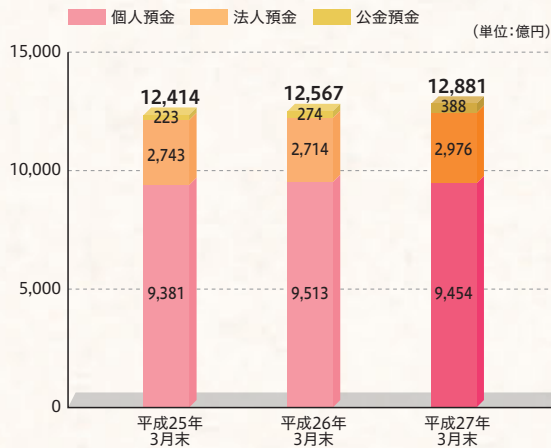


用語解説

■ **コア業務純益** 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支益と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支益のことを指します。

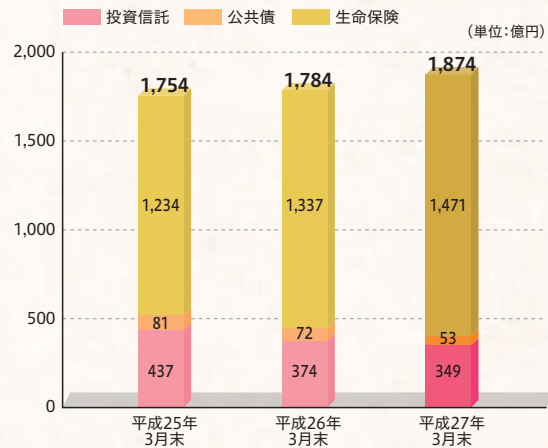
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、個人預金が減少したものの、法人預金及び公金預金が増加したことから、平成26年3月末比313億29百万円増加の1兆2,881億9百万円となりました。



預かり資産の状況

預かり資産残高は、安定志向にあるお客様ニーズの取込みなどにより生命保険残高が増加したことなどから、平成26年3月末比89億40百万円増加の1,874億3百万円となりました。



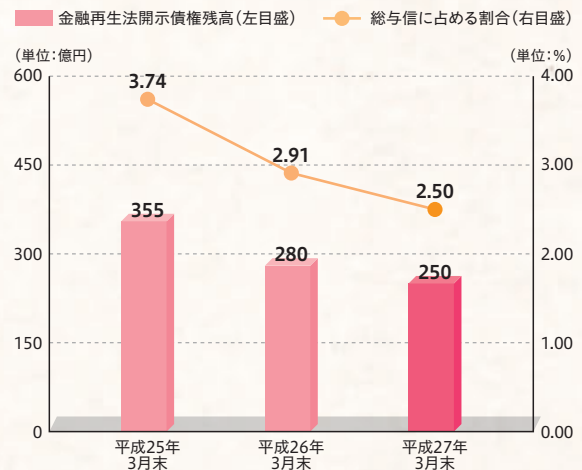
金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、平成26年3月末比29億87百万円減少の250億36百万円となりました。

総与信額に占める割合は、平成26年3月末比0.41ポイント低下の2.50%となりました。

(注) 事業再生専門子会社であるきらやかターンアラウンド・パートナーズ(株)は、平成27年3月1日付で(株)きらやか銀行に吸収合併しております。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。

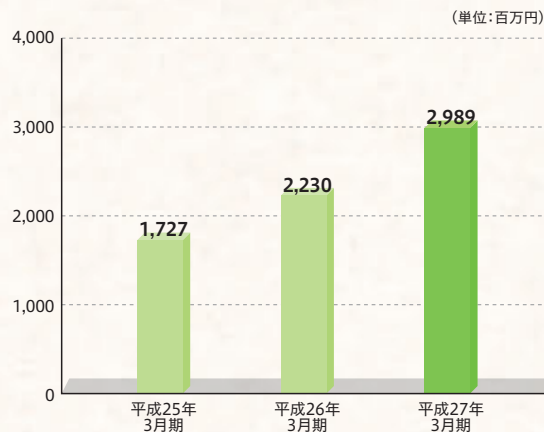
■ 当期純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

業績ハイライト(単体)

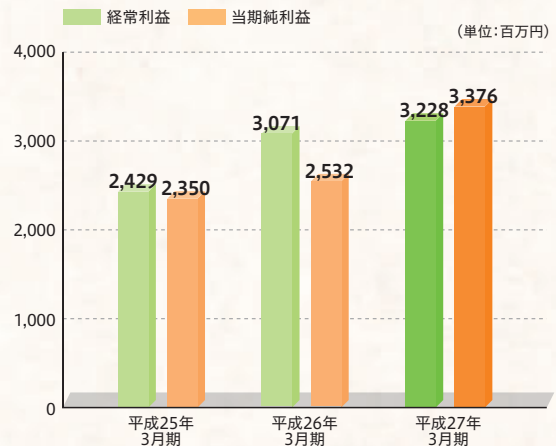
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が増加したことや物件費の削減に努めたことなどから、前年同期比7億58百万円増加の29億89百万円(増減率34.0%)となりました。



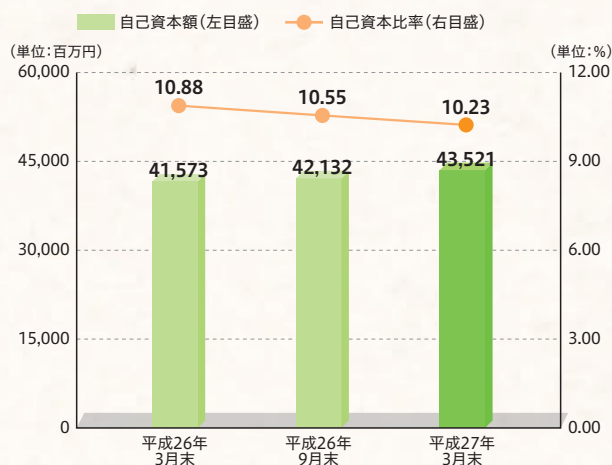
経常利益・当期純利益の状況

経常利益は、前年同期比1億56百万円増加の32億28百万円、当期純利益は、前年同期比8億43百万円増加の33億76百万円となりました。



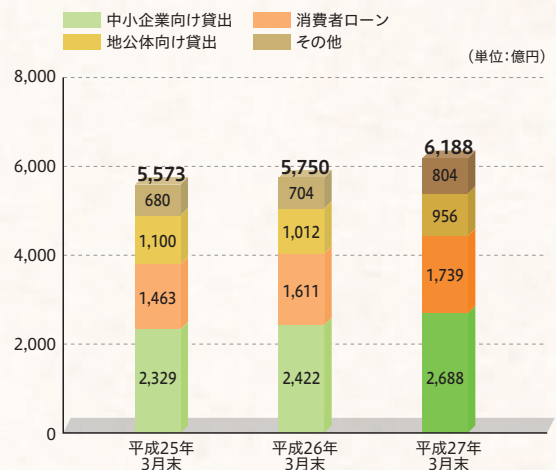
自己資本比率の状況

自己資本比率は、当期純利益を33億76百万円計上したことで、自己資本額(分子)が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、平成26年3月末比0.65ポイント低下の10.23%となりました。



貸出金の状況

貸出金残高は、震災復興に係る様々な資金需要への対応により、中小企業向け貸出や住宅ローン、個人ローン貸出が増加したことなどから、平成26年3月末比437億82百万円増加の6,188億69百万円となりました。

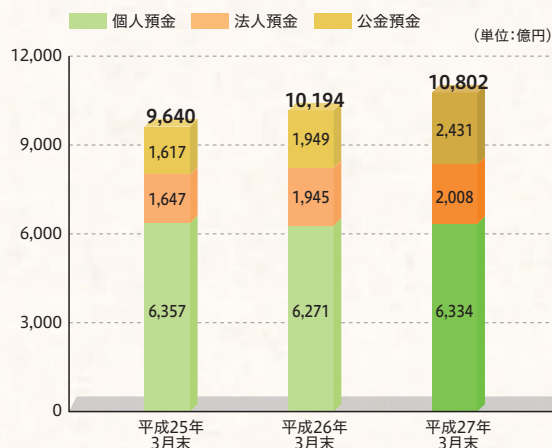


用語解説

■ **コア業務純益** 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支益と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支益のことを指します。

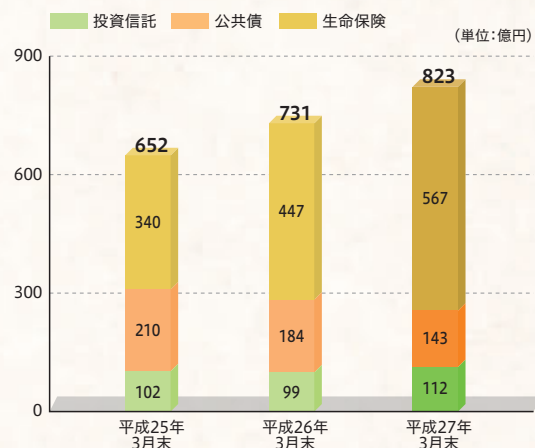
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、公金預金等の増加により、平成26年3月末比607億62百万円増加の1兆802億1百万円となりました。



預かり資産の状況

預かり資産残高は、営業店と資産運用サポートチームの販売強化により生命保険残高が増加したことなどから、平成26年3月末比92億4百万円増加の823億36百万円となりました。

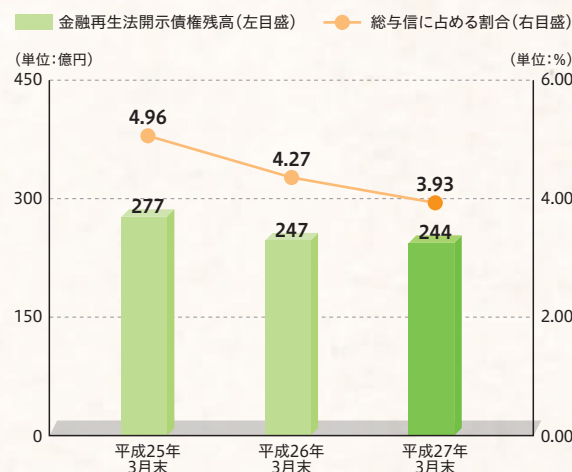


金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、一部の被災企業の業況好転や約定返済などから、平成26年3月末比3億7百万円減少の244億59百万円となりました。

総与信額に占める割合は、平成26年3月末比0.34ポイント低下の3.93%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
 ■ 当期純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

プロフィール・ホームページのご案内

じもとホールディングス

- **本社所在地** 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
- **電話番号** 022-722-0011(代表)
- **設立年月日** 平成24年10月1日
- **資本金** 170億円
- **上場取引所** 東京証券取引所

● ホームページ

<http://www.jimoto-hd.co.jp/>



じもとホールディングスの概要、経営戦略、財務データ、IR情報などの最新の情報をご覧いただけます。

きらやか銀行

- **本店所在地** 山形市旅籠町三丁目2番3号
- **電話番号** 023-631-0001(代表)
- **設立年月日** 平成19年5月7日
- **資本金** 227億円
- **預金・譲渡性預金** 12,881億円
- **貸出金** 9,806億円
- **従業員数** 971人
- **店舗数** 117カ店(県内99カ店、県外18カ店)(注)
(注) ブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式での店舗統合による実質店舗数は78カ店(うち出張所3カ店)(県内62カ店、県外16カ店)、インターネット支店を除く。

● ホームページ

<http://www.kirayaka.co.jp/>



取扱商品、サービスやキャンペーンのお知らせなど、さまざまな情報を詳細かつスピーディーに掲載しております。全国的に人気のあるインターネット専用支店もご利用いただけます。

仙台銀行

- **本店所在地** 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
- **電話番号** 022-225-8241(代表)
- **設立年月日** 昭和26年5月25日
- **資本金** 224億85百万円
- **預金・譲渡性預金** 10,802億円
- **貸出金** 6,188億円
- **従業員数** 704人
- **店舗数** 72カ店(注)
(注) ブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式での店舗統合による実質店舗数は61カ店(うち出張所4カ店)。

● ホームページ

<http://www.sendaibank.co.jp/>



各種商品、サービス、セミナーのご案内など多彩な情報をタイムリーに掲載しております。また、営業店レターでは仙台銀行のある街のとおきの情報をお届けします。



じもとホールディングスでは、当社の経営方針や両行の経営状況をご理解いただくために、IR(インベスターリレーションズ)を定期的に開催しております。

平成27年3月期IR(平成27年7月開催)のハイライト映像をホームページでご覧いただけます。

<http://www.jimoto-hd.co.jp/disclosure/ir.html>

IR開催日程はホームページ(じもとホールディングス・きらやか銀行・仙台銀行)でご案内致します。ぜひお越しください。

株式会社 じもとホールディングス 総合企画部

〒980-0811 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
TEL.022-722-0011(代表)
<http://www.jimoto-hd.co.jp/>

株式会社 きらやか銀行 経営企画部

〒990-8611 山形市旅籠町三丁目2番3号
TEL.023-631-0001(代表)
<http://www.kirayaka.co.jp/>

株式会社 仙台銀行 経営企画部

〒980-8656 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
TEL.022-225-8241(代表)
<http://www.sendaibank.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

※2015年3月期の詳細な財務データにつきましては、
「2015年3月期ディスクロージャー誌本編」をご覧ください。

平成27年7月発行